

はじめまして・・・

高校からはじまる必須科目

がんばれば好きになれる世界史 (0)♪

◆知っておこう①：世界史は、やった分だけ結果にあらわれる科目。

歴史は過去～現在の記憶。範囲があって、覚えたことがまんま出題される。語学とは違う！

ところで、合格最低点って知ってますか？

例えば、私立大学 文系：英・国・社・3科の配点が各 100 点 = 計 300 点満点とする。

230 点/300 (2013 明治大)

182 点/300 (2013 早稲田)

※教育部：英 50 国 50 社 50 = 150 点満点を 2 倍で換算。

▲私が云いたいカラクリは？・・・世界史で 90 点とれたら？

◆知っておこう②：他教科はいざ知らず、

世界史は、み～んな「高校」から始める。STARはみんな同じということ。

◆知っておこう③：『今日やったことは今日修める！』

「復習」しようねってことさ。

この「復習」をしないと、次第に分からなくなり、つまらなくなる。

～ところで、その「復習の方法」って？

▲復習の方法▲ → 覚える(暗記)方法。

・・・ねえ、覚えるって、脳科学的に「インパクト」が重要なんだって、知ってた？

▼ふみふみ 覚えの3カ条

①自作のノートやカードを作る。

字は大きく、色分け、見やすく！そしてインパクトが大事！

絵を描いてみたり、語呂もOK！ (カラフルでもいい！)

まとめは⇒とにかく考えて！どう覚えれば記憶に残るの？

だから全文を写してないで、省略も大事！(省略の美！)

まさにコンパクトにまとめるとこと ⇒まとめの極意です。

ノートをケチ
るな！何冊で
も書けばいい。

鉛筆は駄目。ボールペンの黒、赤、青3色ほどでまとめてみないか？



②繰り返す！・・・ノートやカードは「覚えるため」のもの。

作って満足してちやアカン！何度も繰り返し、見直したくなるものを作れ！

③Where・・・どこで確認(ノートやカード見る)するか。ここぞって云う一人になれる場所をみつけたまえ！

繰り返す！

繰り返す！

★3カ条の真意★・・・伸びる人は、自分からすすんでやる人！

最初は真似でもいい。・・・少しづつ、本当に自分がしっくりいく方法を探すんだ。

自分流へ。がんばれば良い点がとれ、だんだん世界史が好きになる。

そして次第に得意教科になる。

一教科でも良い、誰にも負けない教科をもつのが受験の奥義(テク)！

◆《入門編その1 ... 語呂合わせ・・・真似てみよう!》

世界史に付きものが「年号」です。

どうせなら、『楽しく覚えたい(TOT)』・・・自分で語呂を考えてみないか？・・・自分流が一番いい。(ときには、こじつけもアリ！)

考える時間も、実は勉強も、急がば回れ。『最高の勉強方法の一つになるぞお(@_@)』

◎「語呂合わせ」とは、数字に興味を持たせること。

- 1...いち、い、ひとつ、ひと、ひ
- 2...に、ふ(う)、ツー、じ(次男のじ)
- 3...さん、ざん、さん、み、スリー
- 4...よん、よ、し
- 5...ご、こ、いつつ、いつ
- 6...ろく、ろ、む(ん)、むつつ
- 7...なな、な、しち、セブン
- 8...はち、や、ぱー、パチ
- 9...きゅう、く、ここのつ
- 10...じゅう、どう、いちじゅう、てん
- 0...わ(輪の「わ」)、ぜろ、れい、まる

★ 1～0までの数字は、

左図のように読めます。

これらの数字の組み合わせで、うまくなり文章を作ってください(@_@)。

それが、語呂です。

・・・なるべくわかりやすく、面白くです。

[例2] 日本の元号

明治・大正・昭和・平成

1868、12、26、89

(いは(わ)む(ん)や)

(いつ)

(ふる)

(やく ねん)

[例1]

BC586年

(いつやむ ねん)

バビロン捕囚 ♪

まず、ここまで。入門編のつづきは別プリントで。